

川場村

保存版 令和3年3月発行
Kawaba Village Hazard Map

ハザードマップ

気づきマップ

このマップは、川場村にどのような災害の危険性があるかを想定して示したものです。

洪水・土砂災害の詳しい地図は裏面です。

この色の地域は
土砂災害の影響を受けやすい地域
土砂災害(特別)警戒区域をもとに色づけしたものです。示された区域以外であっても土砂災害が発生する可能性があります。

この色の地域は
洪水災害の影響を受けやすい地域
群馬県水害リスク想定マップ(想定最大規模)をもとに色づけしたものです。浸水想定区域以外の場所であっても浸水する可能性があります。

この色の地域は
地震の揺れは全域で
村内全域、どこにいても可能性があります。村内では、震度6(弱)、震度5(強、弱)が予測されています。

自分や大切な人の命を守るために
1. 周囲にどんな危険があるか確認しましょう。
2. 避難先や避難経路を確認しましょう。

最低限これだけは確認しておこう!

吸つきマップは、群馬県が公表した水害リスク想定マップ(想定最大規模)の計算結果や土砂災害(特別)警戒区域、群馬県の地震被害想定調査結果をもとに作成しました。

洪水

から命を守るために

洪水 避難の心得

浸水前の早い段階に安全な場所へ
浸水の中を避難するのはとても危険です。浸水前の避難にどの情報が活用できるか確認し、避難のきっかけをつかみましょう。

浸水がはじまってしまったら…
浸水後は無理に避難せずに、近くの高い建物や自宅の高い場所で身を守りましょう。

警戒レベル・避難情報(2021年出水期から運用)

警戒レベル1 災害への心構えを高める 今後気象状況悪化のおそれ	警戒レベル2 自らの避難行動を確認 気象状況悪化	警戒レベル3 危険な場所から高齢者等は避難 災害のおそれ高い 高齢者等避難 (川場村が発令)	警戒レベル4 危険な場所から全員避難 災害のおそれ高い 避難指示 (川場村が発令)	警戒レベル4 必ず避難! 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。	警戒レベル5 命の危険 直ちに安全確保! 災害発生又は切迫 緊急安全確保 (川場村が可能な範囲で発令)
---	------------------------------------	--	---	--	---

早期注意情報(気象庁が発令)
大雨注意報、洪水注意報等(気象庁が発令)
大雨警報(土砂災害)、洪水警報相当(気象庁が発令)
土砂災害警戒情報相当(気象庁・群馬県が発令)

洪水 避難の心得 土砂災害 避難の心得
避難に時間がかかる方は特に早めに避難。
周囲の異変や予兆現象を発見したら、情報共有。
危険を感じたり、避難情報を見聞きしたら、避難所や浸水しない親戚・友人宅など、安全な場所へ。
土砂災害 避難の心得
暗くなる前に、声をかけあってみんなで避難。
外に出るのが危険なときは、2階以上の斜面から離れた場所へ。
洪水 避難の心得
浸水がせまってきたら、近くの高い建物にかけあがる。
河川沿いでは、急流で川の流れが流れだしたり、地面が割れるおそれがあります。

洪水から避難するときの注意点

浸水時は、水が濁って足元が見えにくくなります。マンホールや排水溝、用水路などに転落するおそれがあり危険です。
近年、局地的な大雨や集中豪雨が増え、各地で被害をもたらしています。川の上流で降った大雨により急に増水し、大雨が降っていない下流で事故が発生することもあります。増水した河川や水路は見に行かないなど、屋外の活動の時には注意してください。

急な増水に注意

土砂災害

から命を守るために

土砂災害 避難の心得

雨や予兆現象に注意し、早めの避難
土砂災害は、避難情報を発令することが非常に難しい現象です。情報が無くても自主的に避難するきっかけをつかみましょう。

大雨で外に出るのが危険なときは…
避難所まで行くのが危険と感じたときは、無理に避難せずに、丈夫な建物の2階以上の斜面から離れた場所で身を守りましょう。

土砂災害から避難するときの注意点

夜中に雨が降り続けると予想される時は、暗くなる前に避難しましょう。
斜面や増水した川から離れた道を選びましょう。
周囲に危険を感じたときは、高くて頑丈な建物に駆け込みましょう。
土砂災害 避難の心得
暗くなる前に、声をかけあってみんなで避難。
外に出るのが危険なときは、2階以上の斜面から離れた場所へ。
洪水 避難の心得
浸水がせまってきたら、近くの高い建物にかけあがる。
河川沿いでは、急流で川の流れが流れだしたり、地面が割れるおそれがあります。

地震

から命を守るために

地震 発生前の心得

事前の耐震化や家具の固定が第一
1995年の阪神・淡路大震災では犠牲者の8割以上が建物の倒壊によるものでした。地震の被害は一瞬です。起こる前の備えが第一です。特に昭和56年以前に建てられた木造住宅(旧耐震基準)の場合には、必要に応じて補強しましょう。

自宅の地震対策をチェックしましょう。

- 屋根の軽量化
- アンテナなどはしっかり固定
- 柱・梁を補強
- 厚手のカーテン
- 寝室の家具の配置を考える
- 近くの窓にはカーテンが飛散防止フィルムを
- 揺れるものはひもで固定
- 枕元に靴と懐中電灯
- 家具の転倒のおそれのある場所に寝ない
- ブロック塀ではなく生け垣など
- ガラスのけがを防ぐ
- 常時水を貯める
- 子ども部屋、居間、ダイニングの窓や食卓などのガラスには飛散防止のフィルムを貼る
- 基礎・土台を補強
- 扉に留め具
- 家具の転倒を防ぐ
- 消火器の設置
- 家具を固定する
- L型金具やヒートンの固定は壁の地下のあるところや横木に
- ヒートン
- 固定用の針金は太さ1ミリ以上のもの
- 金具
- 針金
- 平型金具
- すべり止め
- 正統ボール(突っ張り棒)
- ピアノの固定方法はメーカーや購入店に相談しましょう

地震 発生時の心得

揺れを感じたら、身の安全を確保
屋内にいる場合と屋外にいる場合、かけ崩れの心配がある場合など、その場に応じて、身の安全を確保しましょう。

グラツキきたら!
身の安全を確保 → 火の始末をする → 危険な場所には近づかない
揺れを感じたら、緊急地震速報を見聞きしたら、テーブルの下や落下物の危険がない広い場所で身を守り、頭を保護しましょう。
揺れがおさまったら、火の元の確認をしましょう。
かけ崩れの危険があるので、山やがけには近づかないようにしましょう。また、倒れた電柱や切れた電線には近づかないようにしましょう。

地震後、自宅で生活できそうときは…

避難所へ行く必要はありません
備蓄品を準備しておきましょう。
ライフラインが停止する場合もあります。復旧するまでの数日間のために、備蓄品があると安心です。
例えは
●指定避難所や指定緊急避難場所。
●親戚・知人宅や宿泊施設・勤め先など。

群馬県は地震が少ない?

地震が少ないといわれている群馬県にも、約10の活断層が確認されています。大地震はどこでも起こりうると考えて備えてください。川場村周辺には、大きい地震を発生させるような活断層として、「片品川左岸断層」があります。右の地震震度分布図は、この断層帯でマグニチュード7.0の地震が発生した場合を想定しています。

群馬県内の主な活断層
片品川左岸断層、大久保断層、太田断層、深谷断層帯

片品川左岸断層による地震(M7.0)における地震震度分布図

情報の入手方法

川場村携帯連絡網システム<集める> 登録必要

村では、警報等の気象情報や避難情報、火災や災害などの発生情報等の情報伝達をメール配信しています。
ご利用には事前に登録が必要です。

緊急速報メール

緊急情報を緊急速報メールに対応した携帯電話やスマートフォンに配信します。事前登録は不要です。(詳しくは携帯電話会社にお問い合わせください。)

テレビで調べる

テレビの**ボタン**(NHKデータ放送)
データ放送に対応しているテレビでは、リモコンの**ボタン**を押すと、雨の情報や河川の情報を確認することができます。

インターネットで調べる

川場村役場ホームページ
URL: <http://www.vill.kawaba.gunma.jp/>

FM FM OZE 76.5MHz
NHK-FM 81.6MHz
FM 群馬 86.3MHz

AM NHK 第一 594kHz
道路情報 1620kHz

電話がつながりにくいときの連絡方法

災害用伝言ダイヤル 171・災害用伝言版
災害時に電話がつながりにくくなったときに、家族や知人との連絡に利用できます。

災害用伝言ダイヤル171 (NTT)
URL: <https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/>

Web 171 (NTT)
URL: <https://www.web171.jp/>

※携帯電話やスマートフォンでも、安否確認ができる「災害用伝言版」が利用できます。詳しくは携帯電話会社各社の案内をご覧ください。

非常持出品・備蓄品の準備

- 食品(レトルト食品、缶詰、調味料、スープ、みそ汁、カンパンなど) 3日分以上
- 飲料水(1人あたり1日3リットル) 3日分以上
- トイレ用品(簡易トイレ、汚物保管用容器、トイレ袋、トイレトペーパー) 3日分以上
- 感染症対策品(マスク、アルコール消毒液、体温計、ハンドソープ、スリッパ・うわばき、ビニール手袋)
- 貴重品(現金・小銭【10円玉】、預金通帳、健康保険証・免許証、印鑑、カード類など)
- 医療品(ばんそうこう、常備薬など)
- 衣類関係(衣類、下着、タオル、毛布・寝袋など)
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 予備の電池、充電器(携帯電話)
- ランタン・ろうそく、マッチ・ライター
- ティッシュ、ウェットティッシュ
- 簡易食器(割りばし、紙皿)、ナイフ、缶切り
- ビニール袋、ごみ袋、ラップ
- 使い捨てカイロ
- 軍手、ロープ
- ヘルメット、防災ずきん

※乳児・高齢者・障がい者いいるご家庭では、このほかにも必需品などを準備しておきましょう。
※非常時に持ち出しできるように、リュックサックなども用意しておきましょう。

発行：川場村 企画・編集：川場村総務課(TEL:0278-52-2111)、株式会社アイ・ディー・エー
このハザードマップには、数値地図(国土基本情報) 電子国土基本情報(地図情報)及び基礎地図情報を使用しています。(測量法に基づき土地情報時系列使用) 令和3年4月

洪水 土砂災害の避難を助ける情報

気象情報に注意!

気象情報を調べて、避難のきっかけをつかみましょう。

注意報・警報・特別警報

大雨により災害が発生するおそれがある場合、警報や注意報などの防災気象情報が発表されます。

雨が強くなると
大雨が降り続けると

注意報 大雨注意報、洪水注意報など
災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表されます。

警報 大雨警報、洪水警報など
重大な災害が起こるおそれがあるときに発表されます。

非常事態 特別警報
大雨特別警報など
重大な災害が起こる可能性が非常に高まっている場合に発表されます。

台風情報

台風は暴風や大雨をもたらします。勢力が強くと、大きい台風が迫っている場合には注意が必要です。

台風の強さ
階級 最大風速
強い 33m/秒以上～44m/秒未満
非常に強い 44m/秒以上～54m/秒未満
猛烈な 54m/秒以上

台風の大きさ
階級 風速 15m/秒以上の半径
大型 500km以上～800km未満
超大型 800km以上

記録的短時間大雨情報

河川の氾濫や土砂災害につながるような、短時間の猛烈な大雨が降っているとき、発表されます。

川場村の発表基準 1時間雨量:100mm
前編地方気象台より

土砂災害警戒情報

土砂災害発生危険性が高まったときに、群馬県と気象庁が共同で発表します。村から避難情報が発令されていない場合、危険度分布などを確認し、避難を判断しましょう。

群馬県土砂災害警戒情報提供システムより
群馬県土砂災害警戒情報提供システム
URL: https://www.dosya-gunma.jp/web_pub/

周辺の雨や危険度を調べよう

気象庁ホームページや、テレビのデータ放送で、リアルタイムの危険度分布(土砂災害・浸水害・洪水)や雨の様子(雨雲の動き・今後の雨)などを見ることができます。

気象庁 URL: <https://www.jma.go.jp>

NHKデータ放送
リモコンの**ボタン**を押す

気象庁ホームページ(トップページ)より

予兆現象に注意!

外の様子に気を付けて、避難のきっかけをつかみましょう。

かけ崩れ(急傾斜地の崩壊)

地面にしみ込んだ水が斜面をゆるめ、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちること。
がけに割れ目が見える。 → がけから小石がばらばら落ちてくる。
がけが水が湧き出ている。
地面にひび割れができる。
斜面から水が湧き出す。
沢や井戸の水が増える。

土石流

山腹や川底の石や土砂が、長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されること。
山鳴りがする。
このほかにも…
□ 地鳴り、木の根のちぎれる音、岩の割れる音などがする。
□ もの腐ったようなにおい(腐葉土、肥やし)においがある。
□ 小動物が異常行動(騒ぐなど)をとる。

予兆現象を見つけたらみんなで共有～自主避難のルールを決めておこう～

予兆現象のすべてをひとりで見つけることは困難です。地域住民みんなで周囲の異変に注意し、避難する方法を決めておきましょう。

川場村天神区の取り組み

天神区では、土砂災害で地域から犠牲者を出さないため、住民による取り組みを行っています。

地域で避難ルールを決めておく
1. 周囲の異変を確認する場所を地域で取りまとめる。
2. 周囲の異変をどのように地域で共有するかを決める。
3. 周囲の異変の確認や避難ルールに基づき訓練する。

過去に災害が発生した場所や大雨が降ると起こる現象、避難方法などをとりまとめた地図を作成。
川場村天神区の防災を考える住民懇話会
▲水害・土砂災害緊急避難地図

▲黒水産豆製場川(川場センター高2階)での土砂災害の様子(平成22年)

みんなで逃げよう!

地震 発生時の心得

揺れを感じたら、身の安全を確保
屋内にいる場合と屋外にいる場合、かけ崩れの心配がある場合など、その場に応じて、身の安全を確保しましょう。

地震後、自宅で生活できそうときは…

避難所へ行く必要はありません
備蓄品を準備しておきましょう。
ライフラインが停止する場合もあります。復旧するまでの数日間のために、備蓄品があると安心です。
例えは
●指定避難所や指定緊急避難場所。
●親戚・知人宅や宿泊施設・勤め先など。

群馬県は地震が少ない?

地震が少ないといわれている群馬県にも、約10の活断層が確認されています。大地震はどこでも起こりうると考えて備えてください。川場村周辺には、大きい地震を発生させるような活断層として、「片品川左岸断層」があります。右の地震震度分布図は、この断層帯でマグニチュード7.0の地震が発生した場合を想定しています。

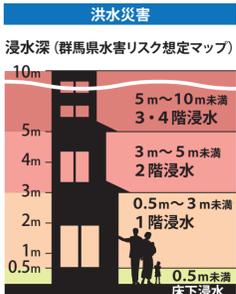
群馬県内の主な活断層
片品川左岸断層、大久保断層、太田断層、深谷断層帯

片品川左岸断層による地震(M7.0)における地震震度分布図

川場村 洪水・土砂災害マップ

このマップは、洪水と土砂災害の危険性がある区域を想定で示したものです。

- 凡例**
- 指定避難所**
災害の危険性があり避難した住民や、災害により家に戻れなくなった住民等を滞在させるための施設
 - 指定緊急避難場所**
災害が発生し又は発生するおそれがある場合にその危険から逃れるための避難場所
 - 福祉避難所**
介護の必要な高齢者や障害者などに対して、ケアが行われ、バリアフリー化が図られた避難所
- 県道
— 望郷ライン
- - - 市町村境界
- - - 字界



浸水深は、平成30年3月時点における国土地理院、国土交通省、群馬県が実施した航空レーザー測量等により得られた標高データや、河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により河川が氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。

土砂災害
土砂災害(特別)警戒区域

土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域

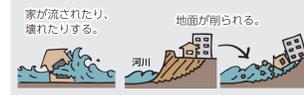
土砂災害警戒区域は、急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域です。そのうち、土砂災害特別警戒区域は、急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められた区域です。なお、区域外においても土砂災害が発生することはありますので、沢やがけの側などは十分ご注意ください。



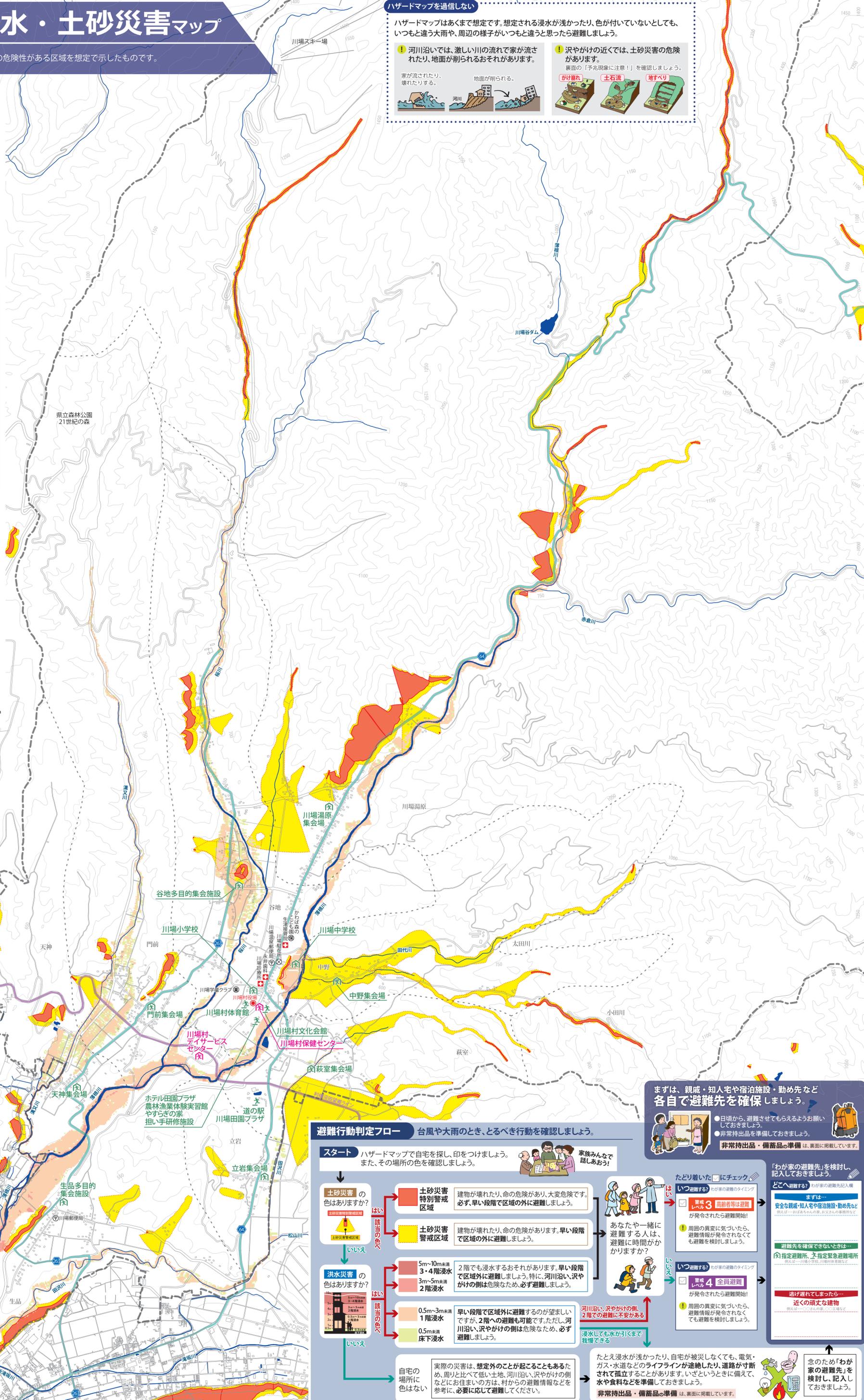
ハザードマップを過信しない

ハザードマップはあくまで想定です。想定される浸水が浅かったり、色が付いていないとしても、いつもと違う大雨や、周辺の様子が変わったと思ったら避難しましょう。

河川沿いでは、激しい川の流れて家が流されたり、地面が削られるおそれがあります。



沢やがけの近くでは、土砂災害の危険があります。



まずは、親戚・知人宅や宿泊施設・動め先など各自で避難先を確保しましょう。

- 日頃から、避難させてもらえるようお願いしておきましょう。
- 非常持出品を準備しておきましょう。

非常持出品・備蓄品の準備は、裏面に掲載しています。

避難行動判定フロー 台風や大雨のとき、とるべき行動を確認しましょう。

スタート ハザードマップで自宅を探し、印をつけましょう。また、その場所の色を確認しましょう。

土砂災害の色はありますか?

- 土砂災害特別警戒区域** (赤) 建築物が壊れたり、命の危険があり大変危険です。必ず、早い段階で区域の外に避難しましょう。
- 土砂災害警戒区域** (黄) 建築物が壊れたり、命の危険があります。早い段階で区域の外に避難しましょう。

洪水災害の色はありますか?

- 5m~10m未満 3・4階浸水** (赤) 2階でも浸水するおそれがあります。早い段階で区域外に避難しましょう。特に、河川沿い、沢やがけの側は危険なため、必ず避難しましょう。
- 3m~5m未満 2階浸水** (黄)
- 0.5m~3m未満 1階浸水** (橙) 早い段階で区域外に避難するのが望ましいですが、2階への避難も可能です。ただし、河川沿い、沢やがけの側は危険なため、必ず避難しましょう。
- 0.5m未満 床下浸水** (緑)

自宅の場所の色はない

実際の災害は、想定外のこと起こることもあるため、周りと比べて低い土地、河川沿い、沢やがけの側などにお住まいの方は、村からの避難情報などを参考に、必要に応じて避難してください。

たどってきたらチェック

いつ避難する? かが家の避難のタイミング

- 警戒レベル 3 高齢者等は避難** が発令されたら避難開始!
- ① 周囲の異変に気づいたら、避難情報が発令されなくても避難を検討しましょう。

いつ避難する? かが家の避難のタイミング

- 警戒レベル 4 全員避難** が発令されたら避難開始!
- ① 周囲の異変に気づいたら、避難情報が発令されなくても避難を検討しましょう。

「わが家の避難先」を検討し、記入しておきましょう。

まずは…
安全な親戚、知人宅や宿泊施設・動め先など
例えば…おばあちゃんの家、おじいさんの事務所など

避難先を確保できないときは…
指定避難所、指定緊急避難場所
例えば…川場小学校、川場村体育館など

逃げ遅れてしまったら…
近くの頑丈な建物
例えば…おじいさんの事務所など

念のため「わが家の避難先」を検討し、記入しておきましょう。